

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年 3月 1日

事業所名 スタジオそら大岡山

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	6	0	・お子様の組み合わせや人数など予約状況で支援に影響が出ないよう部屋割りや入れ替えのタイミングで調整しています。	・お部屋の入れ替わりのタイミングや、フィードバック中など危険性の高いタイミングは特に安全管理を徹底します。
	② 職員の配置数は適切であるか	5	1	・安全性と適切な支援を優先し、業務割り振りで極力スタッフへの負荷が偏らない配置設定にしています。	・日々の必要配置人数を満たし、活動内容に合わせて担当人数を設定しています。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	0	・バリアフリー化はされていないが、施設内での活動がスムーズにおこなえるよう視覚的な提示を増やしたり、逆に刺激となるものを減らすよう努めています。	・マンション内の階段が狭く、降りてすぐ道路のため危険箇所となります。保護者様と一緒に降りるよう促しています。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間になっている。	6	0	・感染症に対する方針は緩和されたが、清掃や消毒はピーク時の方法を継続しています。	・使用する道具は定位置に保管し、使用時のみ取り出しています。使用後は消毒も徹底しています。
適切な支援の内容	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画している	6	0	・支援計の見直しや、人材育成、自己成長にPDCAサイクルを活用しています。	・全スタッフとのミーティングから情報を集め議論の上、目標設定と到達プランを検討しています。
	⑥ 保護者向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げている	6	0	・会話の機会を増やしてニーズを引き出し、可能な限り改善に努めています。 ・保護者評価アンケートを実施し、改善に努めています。	・保護者様からのご意見をお伺いする機会を増やしてまいります。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	・事業所向け自己評価の結果をホームページにて公開しております。	・評価の結果を踏まえて、改善に向けて努力してまいります。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	2	・今年度は大田区からの外部評価をいただきました。	・より良いサービス提供に繋がるよう改善検討致します。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	1	・定期的に各種マニュアルを基に研修を実施しています。 ・スタッフ発案の研修も併せて実施しています。	・日々の支援の中や外部の情報から気になった事例などを元に話し合う研修の機会を設けたいと思います。
業務改善	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	0	・保護者の方からの要望や最近の様子を捉えるようにしています。 ・日々の療育から複数のスタッフで状況を確認し、相談しながら作成しています。	・一貫したアセスメントシートを使用し、子どもや保護者様のニーズを支援計画に反映しています。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0	・実態の判断材料として標準化されたアセスメントツールを用いて確認しています。	・標準化されたアセスメントツールに加え、日々の記録や支援計画などを元にアセスメントを実施しています。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	1	・保護者からお子様のそら以外のご様子を伺い、スタジオ内での様子と鑑みて支援内容を設定しています。	・より包括的な支援を検討してまいります。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	0	・支援計画で設定した目標を楽しみながら達成できるよう毎回プログラムを考案しています。	・支援計画に依らず、包括的な支援を目指します。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	4	2	・実施予定のプログラムは事前にスタッフ間で共有し、不備があれば内容調整をおこなっています。	・前回までの活動記録から継続内容を毎回確認し、必要に応じて前回担当者からヒアリングをおこないます。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	・担当スタッフが固定化しないよう設定し、前回までの記録を確認してからプログラムを設定します。	・担当スタッフを毎回変えることで内容やアプローチ方法に変化をつけています。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5	1	・個別活動の中でも、集団参加のきっかけとなるような経験ができる活動を立案しています。 ・あおぞら療育などで小集団の機会を設定しています。	・小集団実施時に課題や目標が参加者の誰かに偏らないようにプログラムバランスを調整しています。
⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	・朝礼、昼礼に情報共有を行い、担当スタッフ間でさらに詳細について話し合いを行っています。	・直接支援者でないスタッフもバックアップ要員として役割分担に組み込んでいます。	

	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	・毎日終礼の中で当日の支援内容やお子様の様子を共有し、次の支援に役立てています。	・その日の様子を記録し、スタッフ全員が時間を置いた後でも閲覧できるようにしています。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	・支援内容と様子を具体的に残し、次の担当者が支援を継続しやすいよう記録しています。	・記録の内容を職員全員がいつでも閲覧できるようにし、以後の支援方針を毎回検討しています。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0	・半年ごとに支援計画の内容と現状をスタッフで話し合い、その内容を保護者様と共有し適切な支援計画か確認、必要があれば作り直しを実施しています。	・より精度の高いモニタリングをスタッフで共有できるよう努めます。
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	0	6	・今期は実施しておりません。	・より多くのスタッフが参画できるよう努めます。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	1	・モニタリングを一定期間ごとに行い、最近の様子を共有しています。	・担当者との面談など、より効果的に連携を取れるよう方法を検討します。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	6	・該当の利用児がおりません。	・必要に応じて対応致します。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	6	・該当の利用児がおりません。	・必要に応じて対応致します。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	2	・保護者様のご要望に応じて、関連機関と情報を共有する機会を設けております。	・保護者様のご要望に応じて、各機関との情報共有を実施してまいります。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	2	・保護者様のご要望に応じて、就学支援シートの作成など、そらでの様子や支援内容の情報共有を行っています。	・保護者様のご要望に応じて、各機関との情報共有を実施してまいります。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1	・大田区の地域ネットワーク会議や研修に参加することで、他事業所の担当者や関係者、意見交換する機会を得られました。	・保護者様のご要望に応じて、各機関との情報共有を実施してまいります。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	6	・今期は実施しておりません。	・今後、必要に応じて、交流の機会について検討してまいります。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6	0	・地域(大田区)の活動を知り、一部参加することができました。	・地域連携・自立支援の活動に多くのスタッフが参加できる体制づくりを検討してまいります。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	・フィードバックと共に、家庭や園での様子などを積極的に伺います。 ・できるだけ保護者の方と話す機会を心掛けています。	・保護者様のご要望に応じて、面談の機会を増やしてまいります。
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	0	6	プログラムとしての実施はないが、可能な範囲内で家庭内の状況の聞き取りや、相談へのアドバイス等を行っています。	社内で検討を進め、必要に応じて研修等に参加し、知識・スキルを身に付けて実施していきます。
	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	・契約時に確認させていただいております。	・ご希望をいただければ改めて内容のご説明をいたします。
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	0	・ガイドラインに沿って作成、ご説明しております。	・ご同意をいただいた後に新たなご要望等があれば適宜対応いたします。
	㉞	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	・いただいた相談や質問に対して必要に応じてスタッフ間で検討会議を行った後にご回答致します。回答後の様子も聞き取りを行うよう対応に努めています。	・保護者様のご要望に応じて、面談の機会を増やしてまいります。

保護者への説明責任等	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	6	・今期は実施しておりません。	・保護者様のご要望に応じて、実施を検討してまいります。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	・利用時間内での対応が難しい案件にはお申し出いただければ別途面談の日程を調整いたします。	・より積極的に面談希望を申し出やすい環境を整えます。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	・請求書類送付時に会報を発信しています。 ・スタジオの空き情報やイベントなどをメールにてお知らせしています。	・より皆様の目に留まる発信方法を検討してまいります。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	5	1	・目に触れる場所に名前などの個人情報がでないよう配慮しています。	・フィードバックや外活動などでは、より会話の内容や声量に配慮いたします。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	・仲介役として間に立ってサポートすることを心がけています。 ・お子様からのジェスチャーや表情等のサインを見逃さないようにしています。	・信頼関係の構築、視覚化など伝わりやすい環境づくりに努めてまいります。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	6	・今期は実施しておりません。	例年そらコンサートを実施し、地域の方にも参加してもらえるようにしていましたが、今年度は新型コロナウイルス感染対策の為、実施できませんでした。情勢と要望を鑑みて、交流イベント等を検討してまいります。
非常時の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	0	・定期的に訓練、マニュアル研修を実施しています。	・各種マニュアルは保護者様待合スペースにて共有しております。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	・火事・地震を想定した避難訓練を年二回実施しています。	・訓練期間に限らず、日常的に防災意識を持つよう努めます。
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	0	・契約時に確認させていただいております。	・保護者様からの聞き取りにて契約以降の情報更新に努めます。
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1	・食事提供が無いため普段の支援では未対応ですが、食育イベント実施の際は事前に確認させていただいております。	・必要に応じて確認し、お子様の情報更新をいたします。
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	・日々の終礼でヒヤリハットの内容を共有し、月毎に事例集を作成しています。	・事例集を元に再発防止の安全管理を再徹底します。
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	・定期的に研修を実施し、意識向上につなげています。	・スタジオに関わる皆様が安心して通える体制を築きます。
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	0	・契約時に身体拘束についてご説明しています。	・保護者様と相談の上、必要に応じて支援計画に記載いたします。

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。